

SECURITY MANUAL

セキュリティ マニュアル

オルフィスFWシリーズ用



■ ごあいさつ

高速フルカラープリンター・オルフィスシリーズは、データを機器内でデジタル処理することができます。機器内にデータを蓄積するため、情報漏洩防止の観点から適切に管理を行っていただきますようお願いします。

また、オルフィスはネットワーク接続機器でもあるため、ネットワーク接続のリスクの観点からも同様に管理が必要です。各機種にはセキュリティーの機能が搭載されており、適切な設定方法によりセキュリティーリスクを低減することができます。

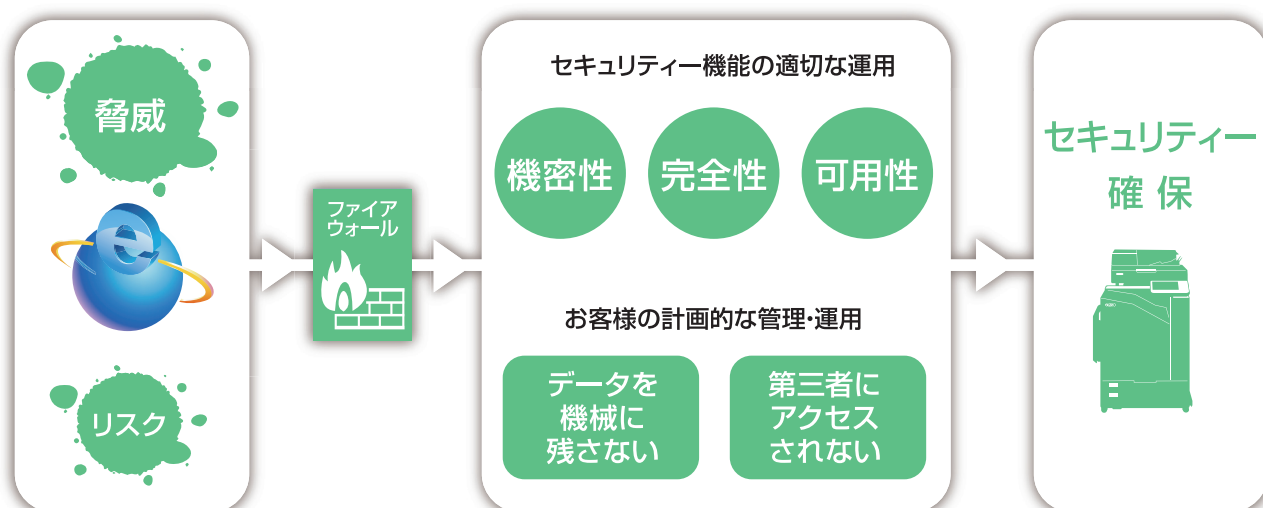
■ 目次

1	セキュリティー対策	02
2	セキュリティー機能	02
3	管理者の役割	03
4	改ざんや不正アクセスに対する安全性	03
5	ユーザー認証	04
6	管理者パスワード	05
7	ユーザーデータ保護	06
8	各種機能制限	07
9	ネットワーク保護	08
10	不正操作追跡	09

1. セキュリティー対策

お客様の情報資産を漏洩や改ざんのリスクから守るために、お使いの機器について正しいご理解と運用が重要です。セキュリティー機能の適切な運用により、**機密性**（漏洩のないこと）・**完全性**（改ざんのないこと）・**可用性**（必要なときに使えること）の環境を保つことができます。

データを機器に残さない、第三者にアクセスされないよう、お客様のセキュリティー方針に基づいた計画的な管理・運用が望まれます。



2. セキュリティー機能

オフィスシリーズの各機種にはセキュリティーを確保するための機能が搭載されており、適切な設定をすることで利便性を高め、リスクの低い運用ができます。お客様の求めるセキュリティーレベルに合わせた設定で運用いただくため、各種機能をご紹介します。

3. 管理者の役割

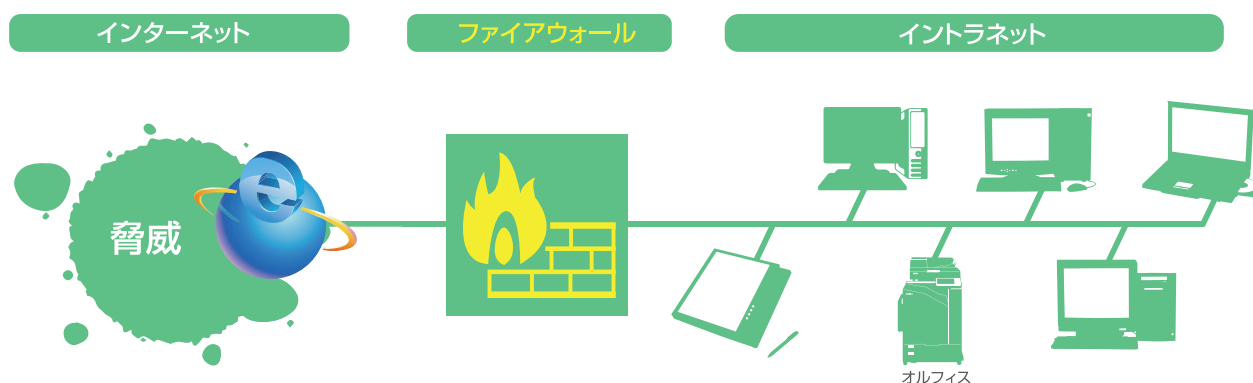
管理者は、セキュリティー方針に基づいた適切な運用が行われるよう、機器の管理を行います。

お使いの機器は、管理者が管理できる環境に機器を設置し、パスワード設定運用に関わる初期値登録を行い、正しく運用されているかを継続的に確認することが望めます。

4. 改ざんや不正アクセスに対する安全性

第三者からのアクセスが許可された状態での運用は、改ざんや情報流出のリスクが高まります。本機に保存するジョブに暗証番号を付与したり、適切なアクセス権を設定することで、リスクを低減する場合があります。

ファイアウォールの内側からネットワーク接続することで、外部からの不正侵入リスクを低減できます。機種により、ネットワーク環境に応じた接続先の制限設定や通信の暗号化ができる場合があります。



詳しくは 

[管理者ガイド | 管理者メニューの設定項目 | ネットワーク設定・IPアドレス制限設定・IPsec設定]

5. ユーザー認証

本機の操作の際に、ログインを必要とするか設定することができます。この機能により、あらかじめ登録されているユーザーがログインしたときだけ特定の操作を許可します。ユーザー管理（管理者による登録・設定）や自動ログアウト時間の設定が必要です。

【ログイン画面のイメージ】



ログイン方法には、操作パネルからのパスワード入力のほか、オプションのICカード認証キットを使用してログインする方法もあります。

認証方法には、機器内部にユーザー登録して認証するほか、外部サーバーでの認証方法もあります。外部サーバーを利用すれば、認証とユーザー管理を集中することができます（一部標準機能に制限が発生します）。

詳しくは 

[管理者ガイド | 管理者メニューの設定項目 | ログイン設定・ユーザー設定]

6. 管理者パスワード

工場出荷時の初期値として管理者ユーザー (Admin) が1つ設定されています。管理者権限をもつユーザーでログインして管理者設定に入ると、機器の各種初期設定を行うことができます。

【パスワード入力画面】



この場合、利便性を過度に重視したセキュリティの低い運用に変更してしまうことも可能です。管理者以外の方が各種初期設定を変えられないように、必ず管理者ユーザーにはログインパスワードを設定することで、お客様のセキュリティ方針に基づいた適切な運用が可能になります。

ただし、管理者パスワードを忘れると設定変更ができなくなりますので、副管理者を任命・登録するなどのバックアップ体制を取ることをお勧めします。

詳しくは 

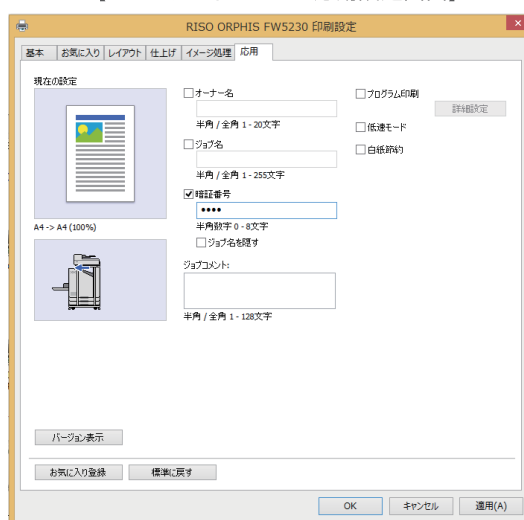
[管理者ガイド | 管理者を設定する | 管理者パスワードの設定]

7. ユーザーデータ保護


ジョブのプリント等の操作を他人に行わせたくないときは、「暗証番号をつける」機能を設定すれば、ジョブ操作の際にジョブにつけた暗証番号入力が必要になります。さらに、プリントのジョブ名を見られたくないとき、プリンタードライバー「ジョブ名を隠す」をオンにすることでRISOコンソールのジョブ名を*表示にできます。

プリントの際も本体パネルでパスワード入力が必要となるため、ジョブ名を非表示にするだけでなく、出力物の取り忘れも防ぐことができます。

【プリンタードライバー応用設定画面】




※ 暗証番号を忘れると操作できなくなり、管理者による削除が必要になります

詳しくは  [ユーザーズガイド|プリント|プリンタードライバーの設定|応用タブ|暗証番号・ジョブ名を隠す]

スキャンの場合も、内蔵ハードディスクに保存するとき、暗証番号をつけることができます。

詳しくは  [ユーザーズガイド|スキャン|スキャンの各種機能|暗証番号]

スキャンしたデータをPDFで保存する場合、PDFファイルにパスワードを設定することができます。

詳しくは  [ユーザーズガイド|スキャンの各種設定|ファイル形式|パスワードによるセキュリティ]


8. 各種機能制限

使用するユーザーを登録しログインが必要な設定にすることで、ユーザーごとに次の制限をかけることが可能になります。

- プリント・コピー・スキャンの各モードでのログインの禁止/許可
- カラーコピー、カラープリントの可否
- カラーコピー、カラープリントの使用枚数制限
- 単色コピー、単色プリントの使用枚数制限

【Webコンソールのユーザー設定画面】



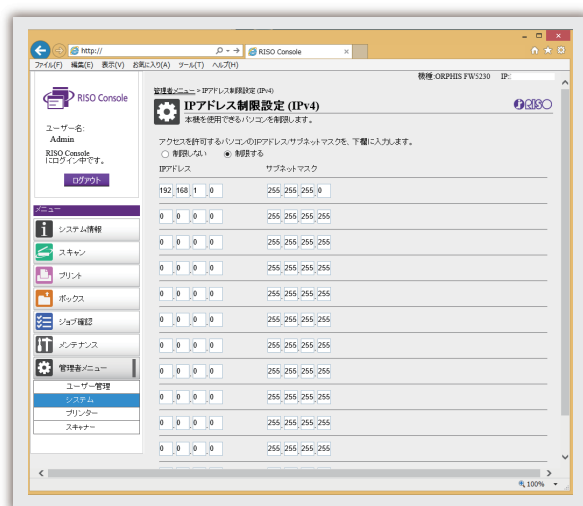
詳しくは  [\[管理者ガイド\] 管理者メニューの設定項目 | RISOコンソールから設定する](#)

詳しくは  [\[管理者ガイド\] 管理者メニューの設定項目 | ログイン設定・ユーザー設定](#)

9. ネットワーク保護


IPアドレス制限設定により、指定したパソコンからのみアクセス可能にすることができます。

【WebコンソールのIPアドレス制限設定画面】



詳しくは  [管理者ガイド | 管理者メニューの設定項目 | IPアドレス制限設定 (IPv4またはIPv6)]

一部の機種ではネットワーク環境に合わせたセキュリティーポリシー (IPsec) を設定して暗号化することで、情報漏洩や改ざんを防止することができます。

詳しくは  [管理者ガイド | 管理者メニューの設定項目 | IPsec設定]

RISOコンソールにhttpsで接続することができます。

詳しくは  [管理者ガイド | 管理者設定項目 | ネットワーク設定 (詳細)]

●詳しい操作方法は取扱説明書をご覧ください。●記載の内容は2016年3月現在のものです。

サポートセンター  **0120-229-330**

受付時間 9:00～17:30 (土・日・祝日・夏期休業・年末年始を除く)

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>

理想科学工業株式会社 本社 / 〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル